

# 運営推進会議開催報告書

開催日	令和8年 3月27日 13:30~14:30	
出席者		議題
利用者	0名	1. 実績報告 2. 感染症対策委員会 3. 身体拘束について
利用者家族	0名	
地域住民の代表者	2名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	3名	
ご意見等のまとめ		
<p>1. 実績報告 グループホームらく令和8年2月、令和8年3月の主な出来事について報告させていただく。</p> <p>2. 感染症対策委員会 令和7年5月～令和8年3月までに起こった感染症と思われる症状と、人数についてご報告させていただき、ご意見をいただきました。</p> <p>症状が下痢のみで感染症なのか、薬の服用が原因なのか判断が付きにくい場合の対応について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・不穏になってしまったり、特別嫌がったり本人に負担がかからないようであれば、居室ですごしていただく対応をとった方がいいのでは？</li><li>・原因がわからない下痢の場合は大事をとって居室ですごしていただいた方がいいのでは？</li><li>・原因がわからない場合は、使用した食器類は毎回消毒した方がいい。</li><li>・わかりやすい目印をつける等して症状がなくなるまで分けた方がいい。</li></ul> <p>等のご意見をいただきました。 今後疑わしい下痢等が発生した場合、本人に負担がかからないようであれば、居室対応を行い、食器類にかんしても使用毎消毒していきたいと思えます。</p> <p>3. 身体拘束適正化委員会 本人の状態により、ベッド上から動かすことができない方がおむつをはずして排泄してしまうという行為についてご意見をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・仮に異食等の行為がみられた場合は切迫性に値すると思う。</li><li>・ベッド上から動かすことができるまでというのが一時性に値すると思う。</li><li>・スタッフ間で代替案についてよく話し合う。</li></ul> <p>等のご意見をいただきました。 今後もスタッフ間で代替案について話し合い、身体拘束をしないサービスを行っていきたいと思えます。</p>		